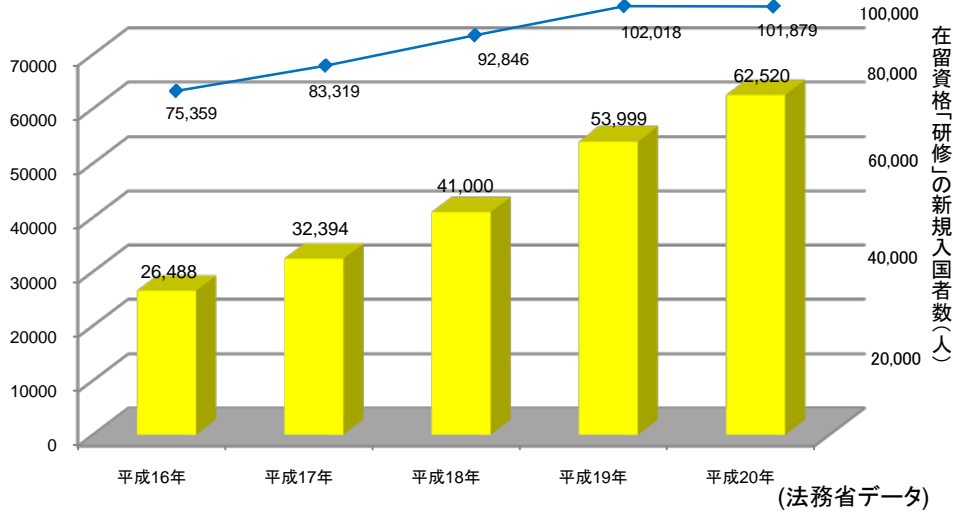


研修・技能実習制度の現状

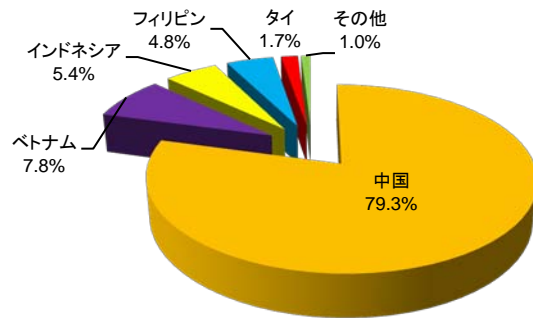
1 在留資格「研修」入国者数、技能実習移行者の大幅な増加

(平成20年:「研修」入国者約10万1千人、技能実習移行者約6万3千人)

在留資格「研修」の新規入国者数及び技能実習への移行者数
※「研修」から「技能実習」への在留資格変更許可件数

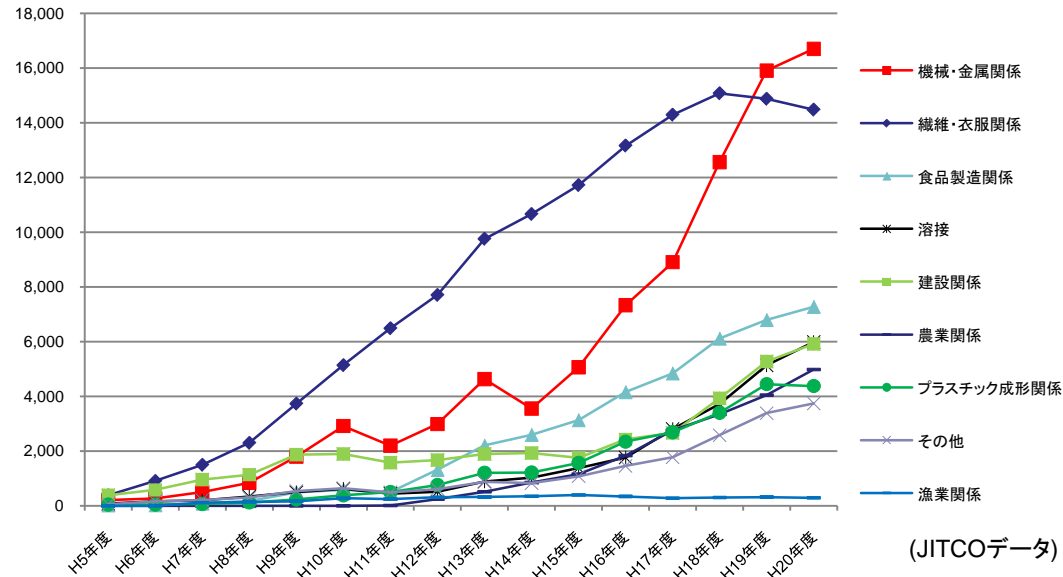


平成20年技能実習移行者国籍別構成比(%)



3 全体で64職種あり、受入人数の多い職種は、

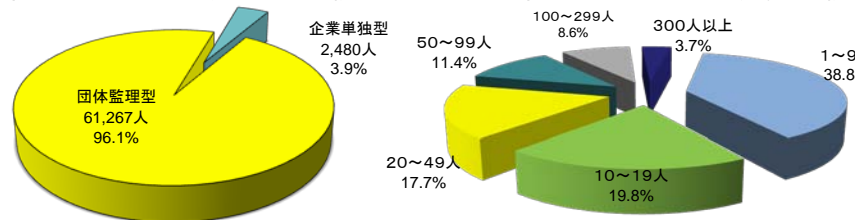
①機械・金属関係 ②繊維・衣服関係 ③食品製造関係



4 団体監理型の受入れが96.1%

受入企業の半数以上が、従業員数19人以下の零細企業

平成20年度技能実習移行申請者数受入機関別構成比 平成20年度技能実習実施企業従業員規模別構成比



※技能実習移行申請団体数:1,681

※平成20年度技能実習実施企業数:19,268

(JITCOデータ)

2 20歳以上30歳未満が移行申請者全体の7割強を占めている。

実習生の支給予定賃金(基本給)の平均は、月12.2万円

各種手当を含み賃金支払総額の平均は、月14万円

※JITCOデータより

5 団体監理型の受入企業で賃金不払い、36協定不締結、研修手当不払い等の問題が見られる

6 過去5年間の失踪率は、3.2%であり技能実習生を研修期間も含め3年間で帰すという点は、ほぼ実現

※JITCOデータは、各年度における研修から技能実習への移行申請者数に基づいている。